



毛利 航太さん
(入社2年目)

【担当業務】

- ・朝礼(西心斎橋)
- ・屋上の図面作成
- ・工事写真の撮影・整理
- ・安全日誌作成

【今後の目標】

- ・2級建築施工管理技士の資格取得

建設業を目指したきっかけはありますか？
また、建設業の魅力は何ですか？

私が建設業に興味を持ったきっかけは、東日本大震災から復興していく様子を見たときに、自分も携わりたかったからです。そして、どのような仕事に就きたいかを具体的に考えていくうちに、「どちらかという体を動かすことが好きだけど、職人さんのようにずっと身体を動かすより、事務作業もしつつ、身体も使って技術を扱う仕事がしてみたい。」という思いに辿り着き、現場監督を志しました。

実際に働いてみて、現場を巡回したり、事務作業でデスクワークをしたりと、たくさんの業務をこなす大変さがありますが、仕事内容の切り替わりが気分転換にもなり、自分に合っていると感じます。こうした働き方ができることも建設業の魅力の一つだと思います。

今までに困ったことはありますか？

現場に配属された当初は、右も左も分からない状態が何日も続いて辛かったです。今はできること・分かることが少しずつ増え、辛く感じることも減ってきました。

入社後におこなう研修で、新入社員が現場で担当しそうな業務に関する内容(安全書類のチェック方法や、安全日誌の書き方など)の具体的な研修があると、現場に配属されても戸惑うことなく業務に取り掛かることができ、良いのではないかと思います。

建設業について「もっとこうなったらいいのにな」と思うことはありますか？

休みが週に1日では、疲労が回復しきらず身体に負担があるため、職人さんも週休1日から2日になれば良いと思います。業界的に週休2日制になることを期待します。

2つの現場を同時進行で管理している現場へお邪魔して、配属されている社員の方々へ、インタビューを行いました。現場で頑張られていた若手社員のお二人に直接インタビューさせていただきました！



入社から1年経ち、現場で働いて思うこと・感じることは？

現場での生活リズムには慣れてきましたが、季節による暑さ・寒さには未だ慣れません。そのため、季節ごとに気を引き締めて体調管理を行わなければいけないと感じています。そして、現場で担当している朝礼が未だに慣れず、事前に話す内容を考えて臨むものの、頭が真っ白になってしまい、上手く話せないことがあります。そういった事態に備え、家で鏡に向かって自身の表情を見つつ、少しでも内容を覚えられるよう口に出して練習するなど、事前準備を行う重要性も痛感しています。

また、現場で先輩方が天候を見通して工事の準備をしている姿を目の当たりにし、工事を工程通りスムーズに進めることの難しさをひしひしと感じています。



仕事の面白さ・やりがいを感じることを教えてください。

私は人とのコミュニケーションを大切にしており、職人さんへ指示を出しているときにやりがいを感じるのですが、それと同時に、伝えることの難しさも感じています。私はコミュニケーションを図ることに苦手意識はないので、日頃から職人さんと良好な関係を築けるよう心掛けています。

その他には、足場が解体され、建物の外観が露わになり、建物がイメージ図通りに出来上がっている様子を見たときは、感動と大きな達成感を味わい、仕事の面白さを実感しました。

所長や先輩たちの印象は？

先輩方は、優しく、面白く、現場の雰囲気を明るくしてくださるので、質問しやすい雰囲気です。職人さんも優しい方ばかりで、質問すると皆さん優しく教えてくださいます。丁寧に教えていただける環境で、大変有難く思っています。

所長・先輩から毛利さんについてコメント

初めての現場で、初めてのことばかりでしょうが、何事にも興味を持って真面目に取り組まれています。最近、質問する機会も増えてきています。ただ、少し粗雑なところがあるので、丁寧が必要です。

最後に一言、お願いします。



まだまだ分からないことばかりですが、先輩方のもとで一つでも多く学び、日々諦めないで頑張ります。初めてのことで、「大変」と感じることは多々ありますが、「思っていたよりも」というギャップは何かを始めたばかりには付き物だと思うので、ひとつひとつ励む所存です。

今回配属されている現場は、狭小なRC造の新築で、隣接する建物や第三者への配慮が特別必要な現場だと思います。そのため、次回もう少し広い現場でもう一度RCの新築を復習したいです。改修や耐震も機会があれば経験してみたいです。今はまだ自分のことだけで精一杯で余裕がないので、後輩の指導等はもう少しお時間をいただきたいです。

仕事の面白さ・やりがいを感じることを教えてください。

建物がどのように施工されていくのか、完成までの過程を一から見られることが面白く、やりがいを感じます。また、重機が動いている場面や、鉄骨やコンクリートの躯体など大きなものが出来上がっていく様子を見られるところが好きです。入社当初に「ガラス張りのビルを建ててみたい」と話していました。今回、ガラス張りのビルの新築工事に携わり、工事中は足場があり外観全体を見ることもできないため、あまり深く考えずに、只々、冷静に出来上がっていく過程を観察・体感しつつ、仕事に打ち込んでいました。しかし、工事が進み、足場が外れ、外観全体を目にしたときに、自分もこのビルの建設に携わった実感が湧き、とても感慨深かったです。

幸喜 舞凜愛さん (入社3年目)

【担当業務】

- ・朝礼（博労町）・墨出し
- ・工事写真の撮影・整理
- ・申請書類の作成・提出
- ・施工図作成 他

【今後の目標】

- ・2級建築施工管理技士、二級建築士の資格取得



所長や先輩・後輩の印象は？

所長や先輩はたくさんのことを知っていて、質問した時にもきっちり教えてくれます。和やかな雰囲気です。初めて後輩のいる立場となりましたが、やはり指導における伝え方が難しいと感じています。



入社から2年経ち、現場で働いて思うこと・感じることは？

入社してから現在3件目の現場ですが、分かることが増えてきたと実感しています。初めてで想像もつかなかったことや、分からなかったことであっても、一度経験すれば、次の機会に活かせるということを、今回の現場では強く感じました。例えば、私がこれまでに経験した現場は2件とも鉄骨造で、今回初めてのRC造だったため、作業や手順が全く異なり、分からないことが多々ありました。しかし、基本的な芯出しは鉄骨造の場合と同じというように、何となく分かる部分もあり、ステップアップしていると感じられました。質問したい内容にも変化が見られ、自分が何を聞きたいのかが分かるようになってきた気がします。現場に携わる方々の話している内容や、言葉の意味が分かるようになってきたことに、一番成長を感じます。

その一方で、完璧にできないことがまだまだ多いとも感じています。今回初めて躯体図と型枠の割付図を作成しましたが、私が必要だと思った情報を全て盛り込んだところ、職人さんから「これじゃ分からない。見づらい。」と言われてしまい、誰もが分かりやすい図面を作成する難しさを痛感しました。

今までに困ったことはありますか？
また、女性の施工管理者として感じる良さや苦労はありますか？

人によって、道具や材料の呼び方が違うことに戸惑いを感じます。相手が社員であっても職人さんであっても、道具や材料の名称がひとつではないため、話が噛み合わない場面があります。私が想像している道具で間違いないか、念のために確認をすると、煩わしそうにされることもままあり、少し落ち込みます。今回の現場では、現場が狭小であるため、道具をまとめて置く場所が無く、仮に道具を置いていると紛失するといったこともあり、物の管理が大変でした。

女性ということで、社員の方からも、職人さんからも、通常より丁寧に教えて頂けているように感じています。苦労の面では、やはり力仕事に関しては男性に劣ることもあり、悔しく感じることもあります。

所長・先輩から
幸喜さんについてコメント

何事にも理解が早く、設計図面をよく確認しており、現場の状況を細かく把握出来ています。書類整理は黙々とこなし、朝礼時には、天候や仕事の内容を考え発表しています。今後は、職人さんにも色々な話をしたり、指示・指摘をできるようになって欲しいです。



最後に一言、お願いします。

分かることが増えてきたとは言ってもまだ知らないことも多いので、分からないことを放置せず、今後も成長していけるよう努めます。これまで新築工事ばかりに携わってきたので、機会があればゆくゆくは改修や耐震も経験したいと思います。ただ、未経験の分野で一からのスタートとなるため、現段階では特別したいとは思っておらず、もう少し自分の中で余裕が出てきたタイミングで挑戦したいです。今は何となくわかるようになってきた新築の経験を培い、更にレベルアップできるよう励んでいきたいです。

所長・先輩から若手社員へメッセージ

若手社員には、朝礼時など挨拶をする場面で、「笑顔」と「大きな声」で挨拶をし、現場を活性化させる役割を期待しています。気持ちの良い挨拶によって、より朗らかで働きやすい雰囲気になると思います。その他、若手社員には2つの行動を意識して仕事に取り組んで欲しいです。1つ目は、主体的に行動することです。指示された事だけではなく、自ら考え行動できるよう努めてください。2つ目は、仕事はチームプレイで連携することが大切です。個人プレイをするのではなく、周囲を巻き込み、協力を仰ぎながら、自身も努力を怠らず、日々励んでください。もし、ミスをしてしまった場合は、隠さないことが大切です。最初は工事写真や安全書類の業務がメインですが、様々な業務にチャレンジして知識を身に付けることが一番の仕事だと思います。まだまだ体験したことのない工事や業務ばかりで、分からないことでいっぱいだと思います。しかし、興味を持って取り組み、着実に自分の力となるので、慌てず1つ1つ取り組んで色々な事にチャレンジしてください。そして、仕事に向き合う時間とキャリアは比例すると思いますので、面倒なことほど、自分から率先して経験して欲しいです。「初めて」のことは誰しも不安ですが、一度経験すると余裕が生まれます。今しか味わえない「初めて」を存分に楽しんでください。

女性が働く現場として心掛けていることはありますか？

現場事務所内の更衣室は、狭いながらカーテンを付け、プライバシーを少しでも守れるようにしました。現場事務所内には、女性専用トイレがありますが、現場は狭すぎてトイレは分けられていません。

また、休暇を取りやすい環境になるよう努めており、皆がそれぞれの現場をサポートし、協力できる体制づくりに努めています。

山鼻所長

まとめ

2つの現場を同時に管理するということで、若手社員のお二人は特に、とても不安があったと思いますが、インタビューを通して、お二人が業務に実直に取り組まれていることが伺えました。また、山鼻所長と藤原さんに質問しやすい環境のようで、現場は良い雰囲気づくりがされているように思いました。

竣工間近の忙しい時期に、小町インタビューへご協力いただき、ありがとうございました！

小町活動についてご意見・ご要望をどうぞ！

現場で働く女性は、日増しに増えていると思いますので、現場パトロールなどにおいて女性目線で改善すべき点があった際には、他の現場にも情報共有し、女性も男性も働きやすい環境を作っていくことが出来れば良いと思います。

藤原さん

